

特化則及び有機則対応  
水平層流排気フード付臓器固定水洗槽

仕様書

令和2年1月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

## I 概要

### 1 調達物品名及び構成内訳

#### (1) 調達物品

特定化学物質障害予防規則及び有機溶剤中毒予防規則対応  
水平層流排気フード付臓器固定水洗槽

一式

#### (2) 構成内訳

1. 水平層流排気フード付臓器固定水洗槽	1 台
2. ホルムアルデヒドリアルタイムモニター	1 台
3. ホルマリン分注記録装置	1 台

但し、上記機器の搬入、据付、配線、配管及び調整を含む。

### 2 技術的要件の概要

- (1) 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。
- (2) 以下に示す技術的要件は大阪国際がんセンター（以下「当センター」という。）が必要とする最低限の要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合は、不合格となり、落札決定の対象から除外する。

## Ⅱ 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

全体

- ① 特定化学物質障害予防規則（ホルムアルデヒド）・有機溶剤中毒予防規則対応の水平層流排気フード付臓器固定水洗槽であること。
- ② 装置内でのホルマリン水溶液分注・臓器固定・臓器洗い・器具洗浄・ホルマリン廃液回収を行うことができ、ホルマリン水溶液・キシレンの取扱いに配慮した装置であること。
- ③ ホルムアルデヒドリアルタイムモニター機能を有していること。
- ④ ホルマリン水溶液分注量記録機能を有していること。

上記装置は下記の仕様を満たしていること。

※水平層流排気フードに関しては管理濃度の厳しいホルムアルデヒドの封じ込めを目的とする為、100台以上の納品実績を有すること。

### 1. 水平層流排気フード付臓器固定水洗槽

- ① 局所排気装置でありフード前面開口部の吸込み風速の差が少ない開放型高性能・水平層流排気方式であること。
- ② フード内に上方向へ吹出すサブライエアーを供給できる機能を有し、これにより竜巻現象を利用した水平層流機構であること。
- ③ 扉による開口制限が可能であること。
- ④ 前面開口高さは最大600mm以上あること。
- ⑤ フード外寸は幅2400mmであること。
- ⑥ フード内で作業するにあたり十分な照明照度が有ること。
- ⑦ 本体メイン材質はSUS304 1.0t以上を使用すること。
- ⑧ 廃液投与槽が3槽あり、それぞれ独立した回収タンクへの回収が可能であること。また回収タンクは陰圧空間での設置であること。
- ⑨ 3槽式のシンクであり、寸法はそれぞれ左：W400×D400×H360、中：W600×D400×H360、右：W400×D400×H250mm程度とし、オーバーフロー口を設けていること。
- ⑩ シンクはそれぞれ完全止水を可能とし、シンク底部からの注水が可能であること。
- ⑪ 右シンクは回収タンクへの回収も可能とし、回収タンクは陰圧空間での設置であること。
- ⑫ シングルワンホールスプレー混合水栓が2個あること。
- ⑬ ホルマリン水溶液の採水口が2個あり、うち1個は既存の薬液注入装置を加工し、蓋を開けずに補給可能にすること。加工後メーカーの作業報告書を提出すること。
- ⑭ 一次側のダクト・給排水工事を含むこと。

### 2. ホルムアルデヒドリアルタイムモニター

- ① ホルムアルデヒド濃度を0.1ppmから測定表示でき現状の安全性をLED表示（緑：0～0.2ppm未満、黄：0.2以上～2ppm未満、赤：2ppm以上）してくれ、2ppm以上の場合は

赤ランプ表示と共に警報音をだせること。

- ② 4センサー（ホルムアルデヒド・アルコール・温度・湿度）方式であること。
- ③ PC無でホルムアルデヒド濃度測定ができ測定結果を10分おきにSDカードへ、ホルムアルデヒド濃度・年月日・時間の項目を2年間連続CSV方式で記録できること。
- ④ 漏水感知センサーが備わっており、警報出力が可能であること。

### 3. ホルマリン分注量記録装置

- ① ホルマリン水溶液採水時に使用者名・日時・採水量の管理が可能であること。
- ② 使用者別の採水量管理が可能であること。
- ③ 40L程度の貯蔵タンク容量があること。
- ④ 100名以上登録が可能であること。
- ⑤ データはSDカードでの取り出しができること。
- ⑥ 20Lの市販ホルマリン容器が2個搭載可能であること。
- ⑦ 停電等の緊急時は鍵を使用することにより採水が可能であること。
- ⑧ 貯蔵タンクへは電動ポンプでの汲み上げ方式であること。
- ⑨ 貯蔵タンク部及び市販ホルマリン水溶液設置部の扉は鍵が掛けられること。
- ⑩ 採水時使用者がパネル上で操作することにより電磁弁が開き一定時間採水が可能になる機構であり、設定時間が過ぎると電磁弁は閉まる機構であること。
- ⑪ 本体寸法はW500×D750程度とすること。
- ⑫ 本体内部は排気ダクトを接続することにより陰圧での使用が可能であること。

### Ⅲ その他

(機能、性能以外に関する要件)

#### 1 機器搬入等

- 1-1 機器搬入及び据付・調整は、施工図を作成し、当センター職員の承認を得た上で、受注者が責任を持って行うこと。また、搬入・据付は土・日・祝日を基本とすること。
- 1-2 調整後、装置が正常に作動するよう当センター職員が立会いの上で試運転を行うこと。
- 1-3 機器搬入の際、当センターの建物及び物品の破損には細心の注意を払うこと。

#### 2 職員研修、技術支援

取扱説明書は日本語版を2部以上用意し、電子データを提供するとともに、担当職員が操作方法を熟知し、確実な検査体制が出来るまで受注者が責任を持って研修技術支援を行うこと。

#### 3 保守、点検及び緊急支援体制

- 3-1 納入日から1年間は、機器の保証期間とし、正常な状態において発生した故障については、受注者の負担で保守、点検、修理を行うこと。
- 3-2 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

#### 4 部品の供給

納入後、当該機器が製造中止になった場合でも7年間は部品の供給を行うこと。

#### 5 設備条件

- 5-1 調達に関連し、当センターの1次側設備（空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備）以外に必要な場合の電源設備、給排水設備、空調設備、通信設備等の設備工事の経費は全て受注者の負担とする。
- 5-2 入札機器導入に必要な搬入・据付・調整は請負者の負担とするものとし、日常業務に支障がないように行うこと。天井及び天井内に設置する機器があれば当センター職員の指示を受け、受注者の負担にて取り付け、復旧すること。
- 5-3 また、機器の搬入・据付時に建物及び物品に損傷が起きた場合、受注者が責任をもって現状復帰すること。

#### 6 納入期限

令和2年3月31日

#### 7 設置場所

大阪府中央区大手前 3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

5階 病理・細胞診断科

#### 8 その他

- 8－1 入札機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で同法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- 8－2 装置の撤去、運搬、据付調整、検査及び職員研修にかかる諸費用はすべて受注者の負担とし、装置の運搬、設置及び据付調整は所定の位置に納入期限までに速やかに行うこと。
- 8－3 本調達物品の納品にあたり知り得た情報等の使用及び第三者への提供並びに情報等複の複写及び複製については厳に禁止する。このことは、業務終了後においても同様とする。
- 8－4 当センター指定の様式にて、機器の仕様データ(商品名、製造番号など)を提出すること。